

こんにちは、マスターの知久です。  
 昨年の東日本大震災発生時には  
 The Lounge 206も壁の大谷石パネルが割れたり、  
 ボトルが割れたりなど多少の被害がありました。  
 私も福島や宮城に足を運び少しの力ですが  
 ボランティア活動をさせていただきました。

あれから1年が経ち何かカクテルで  
 東北を応援できればと思い、  
 今回は宮城県のスウィーツと青森県のリングを使用した  
 カクテルをご用意致しました。  
 暁-2012『AKATSUKI-2012』1,000円  
 東北の夜明けをイメージし、  
 すっきりとした味わいに仕上げさせていただきます。

1. 「がんばろう東北」東北の夜明けをイメージして
2. 暁-2012『AKATSUKI-2012』1,000円



また、3月23日から4月22日までの毎週金、土、日曜日は  
 キャンドルバー206として営業しております。  
 時間はオープンからクローズまで。  
 またキャンドルバー営業中のみのお店のカクテルを  
 ご用意しております。

灯206『TOMOSHIBI206』1,500円

メニューには載せておりませんのでそっとお声掛け下さい。

それぞれの想いでキャンドルを見つめながらグラスを傾けゆっくりお過ごし下さい。



復興の灯『キャンドルバー 206』

復活!

お待たせしました。みなさまのご要望にお応えして…旅シリーズ第1弾 編集長ウガジンと行く

## “いざ鎌倉へ”～義経伝説の旅～

不思議な旅をしました。見晴らしの良いのどかな風景。  
 かつて源義経が仲間と歩いたという道をたどります。今は  
 アスファルトの道路に立って、かつての風景を勝手に想像  
 します。時は1180年、季節は「中秋」。夏も終わり、心地よい  
 風が吹いていたのではないのでしょうか。義経は弁慶ら仲間  
 と共に、愛馬の太夫黒(たゆうぐろ)を連れていたそうです。  
 一行は義経の兄、源頼朝が平氏討伐のために挙兵をした  
 のをきっかけに奥州平泉から兄のいる鎌倉へ向かって  
 ありました。戦いに行くところだったんですね。様々な場所  
 に立ち寄りながら、少しずつ街道を進んで行きます。

義経はとにかく太夫黒を大事にしていたようです。怪我を  
 してしまった太夫黒のために動きまわっていたエピソード  
 からそんなことがうかがえました。  
 彼らはどんな景色を見ていたのでしょうか。そこはどんな匂  
 いがしたのでしょうか。彼は何を思っていたのでしょうか。やは  
 り兄のことでしょうか、それとも…そうやって楽しく想像し  
 ながら、義経と共に私の旅も続きます。  
 私が義経街道を進んで行く道中、町の様々な人に会い、お  
 話をしました。太夫黒の足跡があるという沓石の前で出  
 会ったお母さんには「こっちのくぼみは義経のお尻の跡つ  
 ていわれているよ」と教えて頂き馬頭観音堂の前で出

会ったお父さんは近くにある霞ヶ城跡やこのあたりに咲  
 くツバキやカタクリの話をしました。のりくりりと義経の  
 足跡をたどる旅。街道を進んで行くと、今まで歴史の教科  
 書でしか見たことのない義経や弁慶の人間性が顔を出し  
 今とは全く違う時代を生きる一人の人間として教科書から  
 どんどん義経が飛び出してくるような感じがいたしました。  
 振りかえると、とても不思議で、あたたかい旅です。

- 10:30 山水閣発 ▶ 義経街道を散策
- ▶ 13:00頃 伊王野道の駅でお食事お買い物(各自負担)
- ▶ 14:00頃 道の駅発 14:30頃 山水閣着

### 7 道の駅 伊王野



水車によって挽いた蕎麦をいただく。こへんなにおおきい!!

### 8 弁慶石



弁慶が那須で修行中、山から飛ばしたといわれる石。

### 1 追分明神



義経伝説の旅のはじまり。

### 2 具足岩



「岩が重なっているところを弁慶が「まるで具足(よろい)のようだな」と言ったことからこの名がついた。

### 3 沓石



沓石近くで作業中のお母さん「沓石」この大きな石の名前と出会い、里の名にもなっている。



旬の地元野菜は人気。早い時間に売り切れてしまう。気さくな地元の人たちで運営している。みなさん元気いっぱい!



馬の足跡のようなへこみがあり、義経の愛馬のものといわれている。

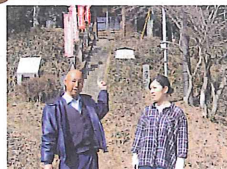


名物 そばソフトクリーム「おいし〜」



伊王野(素敵な地名)の人たちはみな親切。

### 6 馬頭観音堂



愛馬のケガが治るよう七日夜祈願して、元気に回復した。

### 5 おんべし



ゴツゴツした石山で急な坂を上ると石の祠があり戦勝祈願をした。



義経一行が残暑の陽を避け、一休みした。

義経伝説の旅は宿泊ご予約時にお申し付けください。  
 詳しいご案内を宿泊時にさせていただきます。  
 ご希望により、編集長ウガジンが同行いたします。\*参加費はいただきません。  
 \*歩きやすい服装、お履物でご参加ください。\*一日一組4名様までとさせていただきます。



霞ヶ城跡(伊王野城) 天気が良ければ那須岳がくっきりと。



旅の途中。義経は何を思っていたんだろう。

### 編集後記



義経伝説の旅をはじめたくさんの人にお会いした今回の春号。  
 ご協力いただいた皆様に感謝です。  
 東日本大震災から1年。  
 3月1日現在、那須観光協会前の空間放射線量は0.15マイクロシーベルト/時。  
 私たちは引き続き、お客様に安心、安全なものをご提供してまいります。  
 お出かけしたくなる春。  
 那須で変わらず、皆様をお待ち申し上げます。

発行 山水閣だより編集部  
 〒325-0301  
 栃木県那須郡那須町湯本206  
 TEL 0287-76-3180  
 FAX 0287-76-3080  
<http://www.sansuikaku.com>

那須高原の宿 山水閣  
[www.sansuikaku.com](http://www.sansuikaku.com)  
 那須別邸 回  
[www.bettei-kai.jp](http://www.bettei-kai.jp)  
 ウエディング TheOne  
[www.nasu-theone.com](http://www.nasu-theone.com)